

在日大韓基督教会
宣教90年을 향한 目標

1. 自立된 100教会의 設立
2. 主님의 일꾼의 養成
3. 작은 이웃들과 함께 사는 宣教
4. 在日同胞의 삶에 同參하는 奉仕

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

9月1日(日) <1996年> 第540号

発行所 福音新聞社

〒169 東京都新宿区西早稲田2-3-18
電話03(3202)5398番

発行人 李大京・編集人 姜栄一

毎月1回1日発行 購読料1部100円

昭和38年9月20日 第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社

Tel.0474-24-7461 Fax.0474-24-7496

教役者・長老研修会開催

오늘의 教会의 教育的使命이란 主題로

總會教育局主催로 教役者・長老研修会가 石川縣「ルネス金沢」에서 지난 七月十六일부터 十八일까지 開催되었다.

「今日の教会の教育的使命」이란 主題로 一宣教百周年に向う私達の教会の問題―副題아래 関西学院大学神学部教授인 湯本洋一牧師를 主講講師로 모시고 뜻깊은 研修회를 가질 수 있었다.

開會式에는 尹宗銀牧師의 司會로 總會長 李大京牧師의 「우물쭈물은 과는 이삭의 忍耐과 平和創出에 대한 說教가 있었다.

저녁식사 후 朴壽吉牧師의 司會로 講師紹介가 있은 후 湯本洋一教授의 主講講演이 있었다.

主講講演은 처음에 自己經驗을 말하면서 몇가지의 키・워드를 사용해 함께 생각해 가는 시

間이 있었고 저녁에는 崔春子講道師의 司會로 分團分科 討論內容의 報告會와 總務報告가 있었고 金德洙長老의 進行으로 睦會를 가진 후 福岡教會元洪植長老의 召天에 대한 追悼祈禱를 李宗燮長老가 드린 後 李聖柱牧師의 追悼을 終한 말씀으로 會를 끝냈다.

새해날 아침 早朝祈禱會는 金德洙長老가 引導하였고 總合討論 時間에 朱文洪牧師와 金聖孝牧師가 司會를 하면서 各各의 總會發展을 위한 發言이 繼續 이어졌다.

마지막으로 李忠周牧師의 司會로 閉會式과 說教는 教育局長인 趙載國牧師가 해준으로 二泊三日에 걸친 研修會가 六十名의 大자로 막을 내렸다.

(報告 朴壽吉牧師)

李成愛執事
さんびと証の
伝道大会大盛況

「李成愛執事讃美と証」の伝道大会が、總會伝道局の主催のもと、各地方会、(東京教會堂)を皮切りに、



八月十八日(日)の福岡中央教會伝道集會の十五日間、全国十カ所で開催され、盛況のうちに終わった。

李成愛執事伝道集會の内容は、自分が三歳から、洗礼を受けた十七歳まで教会に通ったにもかかわらず、生きて働くイエスキリストに出会えなかったこと、その後歌手になり成功するが、自分の人生の歩みを述べ、真のイエスキリストに出会うまでのこと、イエスキリストに出会ってから今日までの喜びと信仰生活を、讃美(福音聖歌)を中間、中間で歌いつつ証された。時間約一時間三十分ほどかかるもので、どの集會でも、その讃美のすばらしさ、証しのすばらしさで聴く者に大きな感動を与え、イエスキリストの救いの確かさ、

時間い 있었고 저녁에는 崔春子講道師의 司會로 分團分科 討論內容의 報告會와 總務報告가 있었고 金德洙長老의 進行으로 睦會를 가진 후 福岡教會元洪植長老의 召天에 대한 追悼祈禱를 李宗燮長老가 드린 後 李聖柱牧師의 追悼을 終한 말씀으로 會를 끝냈다.

새해날 아침 早朝祈禱會는 金德洙長老가 引導하였고 總合討論 時間에 朱文洪牧師와 金聖孝牧師가 司會를 하면서 各各의 總會發展을 위한 發言이 繼續 이어졌다.

마지막으로 李忠周牧師의 司會로 閉會式과 說教는 教育局長인 趙載國牧師가 해준으로 二泊三日에 걸친 研修會가 六十名의 大자로 막을 내렸다.

(報告 朴壽吉牧師)



▲教役者・長老研修会

『在日教会 伝道の課題』主題로
教役者神学教育세미나

지난 七月十八日(木)午後一時부터 十九日(金)午後一時까지 르네스金沢에 서 教役者四名이 모인 가운데、本總會 神学教育세미나가 있었다.

開會式에는 金武士牧師、朴茂樹牧師、麥仁道牧師、尹宗銀牧師、各牧師가 担当하여 恩惠스리웠다.

發題는 權聖國牧師、朴壽吉牧師、金健牧師가 担当 發表했다.

본 세미나 主題는 「在日教会 伝道の課題」로 成이 되어야 하며、적어 後一時까지 르네스金沢에 서 教役者四名이 모인 가운데、本總會 神学教育세미나가 있었다.

開會式에는 金武士牧師、朴茂樹牧師、麥仁道牧師、尹宗銀牧師、各牧師가 担当하여 恩惠스리웠다.

發題는 權聖國牧師、朴壽吉牧師、金健牧師가 担当 發表했다.

七月二十九日午後三時より日本キリスト教会鶴見教會において、日本キリスト教会と在日大韓基督教会との第二回協議會が開かれた。

日本キリスト教会から前回と同じく渉外委員長・小坂野、山梨での教会形成のあり方は、今後の日本における宣教のあり方に大きな展望を与える。日本人と国際結婚して日本にきた韓国人がノンキリスト者の家族を伝道し、共に教会へ出席するように促している。

しかし既存の教会が、礼拝堂を貸したり、共に交わりを持つことに抵抗をした。その教会の指導者層と一般信徒の間の葛藤といつたこともあり、在日外国人に対して日本の教会の本質と建前の部分が交錯している。自らの宣教の課題を本気で担おうとしているのか、日本の教会の本質的な問題

七月二十九日午後三時より日本キリスト教会鶴見教會において、日本キリスト教会と在日大韓基督教会との第二回協議會が開かれた。

日本キリスト教会から前回と同じく渉外委員長・小坂野、山梨での教会形成のあり方は、今後の日本における宣教のあり方に大きな展望を与える。日本人と国際結婚して日本にきた韓国人がノンキリスト者の家族を伝道し、共に教会へ出席するように促している。

しかし既存の教会が、礼拝堂を貸したり、共に交わりを持つことに抵抗をした。その教会の指導者層と一般信徒の間の葛藤といつたこともあり、在日外国人に対して日本の教会の本質と建前の部分が交錯している。自らの宣教の課題を本気で担おうとしているのか、日本の教会の本質的な問題

『国際結婚者への伝道を』
日キ教会との協議会開かる

七月二十九日午後三時より日本キリスト教会鶴見教會において、日本キリスト教会と在日大韓基督教会との第二回協議會が開かれた。

日本キリスト教会から前回と同じく渉外委員長・小坂野、山梨での教会形成のあり方は、今後の日本における宣教のあり方に大きな展望を与える。日本人と国際結婚して日本にきた韓国人がノンキリスト者の家族を伝道し、共に教会へ出席するように促している。

しかし既存の教会が、礼拝堂を貸したり、共に交わりを持つことに抵抗をした。その教会の指導者層と一般信徒の間の葛藤といつたこともあり、在日外国人に対して日本の教会の本質と建前の部分が交錯している。自らの宣教の課題を本気で担おうとしているのか、日本の教会の本質的な問題

七月二十九日午後三時より日本キリスト教会鶴見教會において、日本キリスト教会と在日大韓基督教会との第二回協議會が開かれた。

日本キリスト教会から前回と同じく渉外委員長・小坂野、山梨での教会形成のあり方は、今後の日本における宣教のあり方に大きな展望を与える。日本人と国際結婚して日本にきた韓国人がノンキリスト者の家族を伝道し、共に教会へ出席するように促している。

しかし既存の教会が、礼拝堂を貸したり、共に交わりを持つことに抵抗をした。その教会の指導者層と一般信徒の間の葛藤といつたこともあり、在日外国人に対して日本の教会の本質と建前の部分が交錯している。自らの宣教の課題を本気で担おうとしているのか、日本の教会の本質的な問題

説教



人権主日

隣人になること

—ルカ10:25~37—

金永秀牧師(豊橋教会)



詞を付けることができなかった。それゆえに「良い殺人犯」とか、「良いドロボー」という言葉がありえないように、「良いサマリア」という言葉は、当時のユダヤ人には考えられない概念語であつたはずである。しかし、主イエスは最も劣悪と思ひ込まれていたその

この本文は、あまりにも有名な「よきサマリア人の譬」が知られている。サマリア人は、当時のユダヤ人にとっては最も軽蔑すべき、また憎まれるべき存在であつた。サマリア人は、ユダヤ人にとっては、民族と宗教の裏切り者の存在で、決して「良い」という形容

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取

「隣人であること」とは、固定した、いわゆる仲間関係、利害を共にできる関係であるとすることができ、ユダヤ人社会において、取



▲自分の悩みを語り、教会生活を話し合った全国高校生夏期学校

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

『求め、探し、門をたたけ』
全国青年夏期修養会開かれる



第44回全国青年夏期修養会

一九九六年八月十三日、六日の日程で長野県「野尻湖レイクハウス」において、五十名の他にNCCYより二名が参加。また教役者の修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

修養会」が行われた。参加者は全国から集まった青年

『キリスト教ってなんだ?』

全国高校生夏期学校開催

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

八月十三日、長野県野尻湖レイクハウスにおいて全国高校生夏期学校が、さつそく分団などのプログラムが進められた。

二日目は午前中、金性済牧師を講師に、主題講演があつた。講演は主に、講師の自分史に基づいて進められ、講師自身が感じた不安や疑問、また体験を聖書、教会によって克服していく過程を語り、それを通してキリスト教の理解、私たちにとつてのイエスを説明された。さらに日本社会における在日韓国人の存在意義と在日大韓基督教教会の役割

三日目、最終討論において

愛三産業株式会社

(株) 済州カントリークラブ

取締役会長 白 昌 鎬
(東京教会 長老)

取締役社長 白 一 善
(東京教会 執事)

本社 〒130 東京都墨田区江東橋4-6-4
TEL (03) 633-7477 (代)
FAX (03) 631-7703

株式会社 ニューキング 愛
有限会社 三

取締役社長 張 鐘 善
(名古屋教会長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771 (代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893 (代)

韓国家庭料理
有限会社 高馬宇

代表取締役 金 元 洙
(東京中央教会長老)

本店 〒105 東京都港区新橋3-18-4
TEL 03 (3431) 3921, 03 (3435) 7809
FAX 03 (3435) 0706
荏原中延店 〒142 東京都品川区中延2-8-13
田畑実業ビル1F
TEL 03 (3785) 1020



大阪教会 姉妹教会と積極交流 青少年育成に 큰 도움

大阪教会は今年 여름(夏)에 본국의 두 姉妹教会와 共同行事를 갖고 親交와 二十一世紀의 宣敎를 向한 나눔을 가졌다.

一、釜山 揚子江教会와 본 教会는 一九八八年 姉妹 關係를 맺고 그동안 敎 役者와 堂會 次元의 交流 가 繼續되어 왔는데 昨年 에 大阪教会 敎會學校生 三四名이 揚子江敎會를 訪 問하여 慶州와 遺跡地를 돌아보며 母國의 歷史工 夫를 하고 돌아왔다.

또한 今年 八月五日(八 日)까지 揚子江敎會 敎會學 校 中學生과 敎友 三六

《聲明》 梶山暴言に抗議する

日本は一九四五年八月十 五日を境にして、それまで の植民地支配・天皇制支配 を支えてきたイデオロギー をきっぱりと清算し、他民 族に対する憎悪と偏見に満 ちた排外意識を捨て去った と私たちは信じたい。しか し戦後五一年目を迎えた日 本は、今なお韓国・朝鮮人 を敵視し続け、韓(朝鮮) とく言うことは、デマゴギ である。一九二三年九月、 関東大震災時に在日同胞が 六千人以上も虐殺されたこ とは、日本政府・軍隊がこ のようにデマを流した(黙 認した)明らかな国家犯罪 であつた。「偽装難民」「武 器供与」「市街戦」などと 徹底的に人種差別の 煽動・流布の禁止を、公然 と犯していることである。

戦後五一年にして、この ような政府支配者を持ち、 更迭もできない国民は不幸 である。

梶山官房長官はこう公言 した。「朝鮮半島で何かあ ったとき一番大変」「大量 の難民が来た時、偽装難民 もある。武器供与されたら どうする」「彼らには国内 の組織がある。南と北の。 それが内紛状態になったと てもない。」

東京東支区で 日韓教会交流会

地域活動で成長促進

昨年 六月二三日(主日) 午後二時五時、日韓敎 會交流会が、日基基 見町教會에서 兩教會(日 基基 東京東支区 東支区外 同 支区内) 있는 總會敎會 西新井教會、東京日暮里敎 會、金羅里教會 等 一〇二名이 參加한 가운데 있었다。

一部 合同聖餐禮拜에는 河合裕次牧師 司會로 權 寧國牧師의 共に生きた。 題目의 說敎와 聖餐禮 式에는 川染三郎牧師가、二 部 講演에는 申鉉錫牧師 가、日韓基督教交流史」라 는 題目으로 講演을 했으 며、交流会에 들어가서 戒 能信生牧師 司會로 金羅 里教會 青年들의 福音 聖歌와 다과를 나누면서 교류회를 가졌다。

本交流会는 일찌기 西 新井教會 어머니學校가 모 체가 되어 東京東支区안

에 있는 몇몇 日韓敎會들 이 매년 日韓敎會를 爲하 여 定期的으로 日韓 敎會交流会를 가져오던 것 을 本敎會에서 當支區 宣道部傘下로 移轉하여 組 織이 擴大되면서 今年 새 계년 第一回交流会를 갖 게 된 것이다。

七月十七日、津地裁四日 市支部は金聖基牧師に対し て、入管法第七三條の二に 違反してオーバーステイの 韓国人七人に働か先を斡旋 したとして、懲役一年・執 行猶予三年の判決を言い渡 した。金聖基牧師は控訴せ ず、判決が確定した。

判決では「被告は企業、 労働者の要請を受け、通訳 を頼まれたのをきっかけに 特に感謝したい。」

(報告 RAIK)

裁判報告

七月十七日、津地裁四日 市支部は金聖基牧師に対し て、入管法第七三條の二に 違反してオーバーステイの 韓国人七人に働か先を斡旋 したとして、懲役一年・執 行猶予三年の判決を言い渡 した。金聖基牧師は控訴せ ず、判決が確定した。

判決では「被告は企業、 労働者の要請を受け、通訳 を頼まれたのをきっかけに 特に感謝したい。」

(報告 RAIK)

創業30年(1996年)
韓国への
引越しは.....
コスモス

東京 ☎(03) 3501-1487
大阪 ☎(0729) 39-6911
福岡 ☎(093) 622-3746

代表取締役 金慶得
(東京第一教会 長老)

不動産業務全般
免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金光洙
(名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市熱田区川並町2番21号
(名古屋中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682) 1177(代)
名古屋市中区千種区御影町2-55-5
電話 052(711) 4398

創業40年
通信・OA・OR機器全般販売・工事
簡易通訳設備

○300MHz使用(FMではない)
○工事不用 ○導入簡単

髙徳通信工業

代表取締役 李建豪
(名古屋南教会 長老)

〒490-11 愛知県海部郡大治町大字砂子字村東2336
電話 (052) 431-3156(代)
FAX (052) 431-3190

完成した「セツンの家」で 全国女性連合会定期大会開く



在日大韓基督教全国教会女性連合会
第48回定期大会
1996年7月23日 於「セツンの家」

去る七月二三日(火)、四十以上の長い折り目と努力によりようやく完成した、在日老人ホーム「セツンの家」にて全国女性連合会第四八回定期大会が開催された。そのための例年になく「セツンの家」の見学を兼ねた傍聴者が多数参加して下さり、任員一同うれしき悲鳴をあげながら会場準備に汗だくとなった。

開会礼拝は李芸求会長の司会で始められ、アメリカ出張から帰国されたばかりの李大京総会長が礼拝メッセージと聖餐式の司事をされた。

来賓の中に八十歳を過ぎた鄭愛羅勸士が車イスで参加され、大阪北部教会に通う御家族も同席された。実は鄭愛羅勸士は全国女性会創立四十周年記念式において、一九四九年創立発起から一九七〇年まで全国任員を歴任されたことにより

宣教師長・鄭静子(名古屋) 教育局長・金恵栄(大阪) 社会局長・権玉華(永和) 青年局長・洪恩淑(下関) 財政局長・徐貴生(京都南部) 後援局長・文英子(神戸東部) 関東地方会長・金光子(西新井) 中部地方会長・金恩漢(名古屋) 関西地方会長・曹善戸(大阪) 西部地方会長・金善(神戸東部) 西南地方会長・李明順(福岡) 会計監査・李芸求(神戸東部) 会計監査・吉山幸子(大阪上町)

改選後、李芸求前会長に労をねぎらう花束贈呈がなされたが、それをすぐその場で新会長にプレゼントして返す和やかな雰囲気の中、議事がすすめられた。

熊本といえは阿蘇山です。その阿蘇から熊本の街の中心を抜けて有明海まで流れる白川の土手沿いに教会は立っています。熊本の駅から徒歩十五分、熊本の中心地である交通センターからも徒歩二〇分という恵まれた立地条件にある教会です。

熊本はバス交通センターを中心とする地域が中心街として発展し、JR熊本駅前の方は開発が随分遅れました。それは、熊本駅と教会がある本山地域には、昔街道沿いに見せしめのため刑場があったこと、近くに遊郭地帯もあったために、現在でもそのことを知る人たちがこの地域に住むのを拒む傾向が強いというのが理由らしいのです。そのせいか駅から教会の方に続く地域は商店も少なく、会全員の啓蒙とコンセンサスを一致させることの重要性を問う声も上がった。

熊本は人口約一八五万人で、在日韓国人・朝鮮人の人口は民団の九六年五月段の統計によれば一八七人(三六二世帯)です。熊本における在日社会の形成は、戦前は三菱の飛行機工場(現自衛隊健康駐屯地)などに朝鮮からの多くの労働力が動員され、工場周辺地域に飯場が形成され、また、戦況が厳しくなると三つの工場の移転が計画され、そのために朝鮮人が多く動員されてその移転工場周辺の各地で飯場が形成されました。その他熊本県内に鉄道、市電などのさまざまな工事の労働力動員のために各地に飯場が存在しました。

戦後は熊本市内の在日の多住地域である河原町(大崎)が形成されました。衣料品、土木建設業、地産品、飲食店、遊技業、金融業などの事業によって財をなす人々が出てくるにつれて、熊本教会も河原町の同胞の

地域教会の現住所 ②

在日社会と共に歩む

金 聖 孝 牧師(熊本教会)



て地域から出る在日が増え、新しい姿を創造していく。また、職を求めて関西方面に転居するなど、現在では在日の多住地域はなくなっています。

熊本教会の洗礼教人は現在二八名で、牧師一人、長老一人、執事九人で諸職を構成しています。礼拝出席平均は二二名ほどです。その構成は、一世、二世、三世の他に、ニューカマー、留学生、日本人高校生、大學生、また教会学校の子供達(十人ほど)の構成は、その信徒構成を反映して少ない人数ながら現在の在日韓国人・朝鮮人社会を映す複雑な構成をしています。

聖経要理問答書とその講解 ④0 罪と悲惨な状態からの救出(1)

尹 宗 銀 牧師(横浜教会)

「人が墮落した状態の悲惨」の続き
③しかし最後の日に、即ちすべての人が一般に復活される時、はじめてわたしたちは、信者が「すべての悲惨から完全に救われて完全な幸福に導かれることを知るようになる。そしてまた不信者はからだと魂が共に永遠に継続する悲惨な世界に渡されるのである。イエスは言われた、「からだを殺してもその後でそれ以上なにもできない者どもを恐るな。恐るべき者がだれであるか、教えてあげよう。殺したあとで更に地獄に投げ込む権威あるかたを恐るなさい」(ルカ12:4、5)。だから「からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐るな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐るなさい」(マタイ10:28)。(この項終わり)

第十五課
問20 神は全人類を、罪と悲惨な状態の中で滅びるままに残されたのですか?
答 神は、御好意によって、永遠前から、ある人々を永遠の命に選んでおられたので(1)、彼らと恵みの契約を結ばれたのです。それはひとりのあがな主によって彼らを罪と悲惨な状態から救出して救いの状態に至らせるのである(2)。(1) エペソ1:4 (2) ローマ3:21、22

【講解】 わたしたち人間が創造された時の無罪なる状態から墮落して、罪と悲惨な状態に至るまでの人間歴史をあらわかにした。今度の第20問答では、罪人に対する神の驚くべき慈悲の記事がわたしたちの前に展開されるのを見るのである。ここで、わたしたちは、神が(どのように)罪人たちを罪と悲惨な状態から救い出して救いの状態に至らせたいのかを学びたいのである。《ただ》神の慈悲と恵みだけが罪人のための逃避の道であり、また《ただ》神の力によってのみ、罪人が罪と悲惨な状態から逃れるようにすることができ、それゆえにわたしたちが改革主義信仰のキリスト者たちは常に神の「無条件的選び」の教理を信じるのである。この教理が教えることは、(1) 神が全く墮落した人の中から救われるべきである人々を選挙する。(2) 神がこれらの者になにか善なるものがあるから選択したのではなく、神が選択しない者の中から見られないのである条件を選択された者の中からも見られないので、神の選びは「無条件選択」というのである。(3) 神がただイエス・キリストを通じてこれらの者が救われ

るように選ばれた。換言するならば、それらの者は時が至ってキリストのもとにきて罪を悔い改め信じることによって義とされ、養子とされることなしには救われないのである。わたしたちはこれらのことを例証することはむずかしいのである。しかし次の絵から重要な点を例証することができ、



この絵の中にあるすべてのおもちゃは全部同じものである。これがあればよりすぐれているとはいえない。ショウティがほかのおもちゃをすべておいて、特別に選ばれるようなものは一つもない。そうだとすれば、